

魅力づくり加速

産業は、インフラの整備や自然災害の特殊な被害の一種で手不たずかるは、昨々、特設建設費の膨大な支出を要する。このように、とり、損つて湯鍋の社会的に大穴ぼけする一方で、技術者が高齢化が進んでいる。団塊の世代が後高齢者となる2025年問題、大量の退職者が出ると思われる2050年問題も間近に迫る中、建設業は其の影響を受け、深刻な人材不足に直面すると予測されている。次世代に担うべき人材中心とした人材確保は大々的課題だ。その国や地区は、働き方改革の推進や労働環境の整備、女性の活躍、IT・情報通信技術の活用を推進、業界を含め、若い世代に対する建設業のイメージを改善の取り組みを展開している。

変わる建設業界を発信

若者世代にアピール

「飛」の語にちなみ、生
活を改善する重要な役割を担
うべき建設業として、近年
で、厳しい現場実態と、
顧客の取組に左右され多い
こと、ネグティブイメージ
が強いことから、若年
層を吸着すべき要因のつ
つとなつてい

（二）したがいし、若
手人材の欠乏、定着
を図るため、長年開
発の要を嘆息するもの確
保を要し、特に新卒者の

モデル事業として、
CITを推進し、年
産性や安全性の向上にな
るようCIT活動は推進され
て、環境整備に向け多
くの企業を支援する。20
12年4月には、建設
業法に於ける改正労働
基準法に於ける時間外労働制
の適用開始、業務効率
化やデジタルトランスフォー
メーション、DX、化
などに取組む機運を促し
、また企業間、若手材
の採用を目指す、働き方改

生産性と安全性向上

馬瀬建設
(下呂市)

位置情報を計測してブレードの高さや勾配を自動制御するICTブレードモニターで設計データや重機の位置、ブレードの高さなどの情報を把握できる

■下呂市馬瀬黒石



ICT活用、作業効率化

高齢化で生産人口が減少の一途をたどる中、生産性向上や身体的負担の軽減を



今年10月に社長に就任、ICT活用を推進する森本翔太郎さん(左)と、DXの推進チームを率いる工事部の目下部長也課長＝下呂市馬瀬、馬瀬建設

図が注目され、同も2016年から測量、設計、施工など全工程でICTの導入を推進する「Construction 3」を進めさせた。3次元設計データから自動制御で正確な作業が行えるCT建機や、ドローンでの測量を用いることで、少人数で効率的な現場運用が可能になり、働き方の改善にもつながると期待されている。

自社の材や機械、技術で工事を結する「自前主

うICT建機を積極的に導入した。

[illegible]

建設現場のICT化に興味

業者講師 高校生が体験学習



体験学習②「建設・材育
成・確保促進協議会主催」
を10月1日、工業高専・土木
工学科の1年生を対象に行
った。ドローン操縦士養成
スクール運営が主手が行っ
てのROBZ（ロボッツ）
名古屋と、測量資料館の
販売やレンタルなどを行っ
ている亀太・岐阜市の「従
業員」が講師を務めた。

ロボッツはカメラを内蔵し
たドローンを活用して、大
木の現場の地形の測点を少

A1「ラッピング」による風景
走行の「ドローン」を高校生
のロボットの対決で、大垣
市南宮町、大垣・商業校

を使えば、立ち入れない場所に行けて、災害時は救助活動に使われることもあった」と話した。

単たは手動で簡単に立体化の計划ができる測器器を紹介。従は断面図や断面で建物などの設計図を写した状態から3Dの図面化するものが容易に行え、従来よりも正確に仕上がり、予想よりも正確と説明した。2年生は野野愛を交えて「建設土木の現場で3Dの技術を用いて、2Dの図面から、測量の最新技術についても学びたい」と話した。



企業である加藤建設の話を熱に耳を傾ける参加者たち。大市藤江町、ハローワーク大垣

県がセミナー
未経験者に建設業界PR

11月11日、ハローワーク大垣（大垣市藤江町）で建設業界の就労経験がない求職者を中心とした建設業界セミナーが開催された。県が2022年からハローワークと連携して行っている事業で、本年度は岐阜、大垣、多治見で、合計5回が実施され、幅広い年齢層が参加している。

当日は、県技術検査課から建設業界で人材がいる労働環境改善や人材育成などの取り組みを説明。県がこうした取り組みを積極的に行う企業を「ぎふ建設人材育成一リーディング企業」として認定する事業を伝え、就職先の選定に役立てて欲しいと呼びかけた。その後、基礎技能の習得や資格取得に向けた無料の職業訓練を行う建設業振興基金が、建設業界で活躍している若手、東海地区で実施されている職業訓練を案内した。最後に、ぎふ建設人材育成一リーディング

企業に認定されている加藤建設（揖斐郡揖斐川町）で、採用を担当する鎌谷耕二郎氏が登壇。未経験でも応募可能な職種やその業務内容を紹介し「建設業界は社会的ニーズが高く、安定して仕事の受注が見込める業界。資格取得もサポートしており、経験がなくても活躍できる」と、建設業界への入職を促した。

このセミナーは、これまで建設業界の情報収集できる場として好評を得ており、今回も定員を超える11人が参加した。ハローワークの担当者も「異業種への転職や資格取得を希望する人が関心を持っている。建設業界は働きやすさが向上している」と聞いたり、どう変わったかを知りたいという人も多い」と話す。今回の参加者から「仕事の全体像を知ることができ、興味深かった」などの声が聞かれており、同セミナーは来年度も実施される予定だ。

無断複製・転載を禁じます